

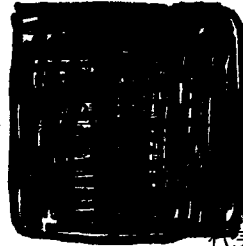
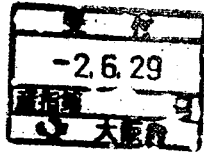
①

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 2年 6月 29日

大阪府知事 殿



大阪府池田市ダイハツ町1番1号  
ダイハツ工業 株式会社  
代表取締役社長 奥平 総一  
(法人にあつては、名称及び代表者の)

電話番号 (072)754-3885

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ダイハツ工業株式会社 本社(池田)・京都工場(池田地区)
事業場の所在地	大阪府池田市ダイハツ町1番1号
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	31
② 事業の規模	2019年度自動車生産台数：244,016台
③ 従業員数	7,600人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙「産業廃棄物処理計画書(第1面) ④産業廃棄物の一連の処理の工程」に示す

別紙 産業廃棄物処理計画書（第1面） ④産業廃棄物の一連の処理の工程

番号	種類	積替え	中間処理	処分
1	鉄くず 廃1斗ペール缶	→ → → →	鉄くず 委託処理（圧縮） 原料化	
2	非鉄金属くず アルミはく	→（産廃扱い運搬）→ →	非鉄金属くず 再資源化（再生） 原料化	（売却）
3	ガラスくず ガラス	→ → → →	ガラスくず 委託処理（破碎） 再資源化	
4	廃プラスチック類 廃プラスチック	→ → → →	廃プラスチック類 委託処理（破碎） 再資源化	
5	廃プラスチック類 複合廃プラ	→ → → →	廃プラスチック類（下記以外） 委託処理（破碎） 再資源化	
6	木くず 木くず	→ → → →	木くず 委託処理（破碎） 再資源化	
7	木くず （廃パレット）	→ → → →	木くず 委託処理（破碎） 再資源化	
8	木くず （廃パレット）	→ → → →	木くず 委託処理（破碎） 再資源化	
9	廃プラスチック類 （硬質廃プラ）	→ → → →	廃プラスチック類 委託処理（破碎） 再資源化	
10	廃プラスチック類 （軟質廃プラ）	→ → → →	廃プラスチック類 委託処理（破碎） 再資源化	
11	蛍光灯 蛍光管	→ → → 蛍光灯 委託処理 積替え	蛍光灯 委託処理（破碎） 再資源化	
12	電池類 乾電池	→ → → 電池類 委託処理 積替2回	電池類 委託処理（焙焼） 再資源化	
13	金属くず（エアバック） エアバック	→ → → →	金属くず 委託処理（高温分解） 原料化	
14	汚泥 スラリー	→ 汚泥 自家処理 脱水 →	汚泥 委託処理 混練固化	
15	汚泥 塗料かす	→ → → →	汚泥 委託処理 混練固化	
16	自動車用プラスチックバンパ 廃バンパー	→（産廃扱い運搬）→ →	自動車用プラスチックバンパ 再資源化（破碎）	（売却）
17	汚泥 塗料かす（休日処理分）	→ → → →	汚泥 委託処理 焼却	→ 燃えがら 委託処理 埋立
18	汚泥 塗料かす（休日処理分）	→ → → →	汚泥 委託処理 焼却	→ 燃えがら 委託処理 埋立
19	汚泥 清掃分	→ → → →	汚泥 委託処理（燃料化） 再資源化	

別紙 産業廃棄物処理計画書（第1面） ④産業廃棄物の一連の処理の工程

番号	種類		積替え	中間処理	処分
20	汚泥 清掃分	→	→	→	汚泥 委託処理（乾燥処理） 再資源化
21	汚泥 清掃分	→	→	→	汚泥 委託処理（油水分離） 再資源化
22	鉍物系廃油 清掃分	→	→	→	鉍物系廃油 委託処理（燃料化） 再資源化
23	鉍物系廃油 清掃分	→	→	→	鉍物系廃油 委託処理（油水分離） 再資源化
24	固形油 廃グリス	→	→	→	固形油 委託処理 焼却
25	鉍物系廃油 油水	→	→	→	鉍物系廃油 委託処理（油水分離）
26	廃プラスチック 機器	→	→	→	廃プラスチック 委託処理（破碎） 再資源化
27	鉍物油廃油 廃試薬	→	→	→	鉍物油廃油 委託処理 積替え 焼却後再資源化
28	汚泥 清掃分	→	→	→	汚泥 委託処理 積替え 焼却後再資源化
29	廃アルカリ（下記以外） 廃LLC	→	→	→	廃アルカリ（下記以外） 委託処理 エマルジョン燃料
30	廃酸（下記以外） 廃試薬	→	→	→	廃酸（下記以外） 委託処理 積替え 焼却後再資源化
31	廃プラスチック類（下記以外） 技術部分（アサヒブ）	→	→	→	廃プラスチック類（下記以外） 委託処理 積替え 焼却後再資源化
32	鉄くず 鉄くず	→	→	→	鉄くず 破碎後再資源化 原料化
33	鉄くず 鉄くず	→（産廃扱い運搬）	→	→	鉄くず 再資源化 原料化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 管理体制に示す

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
<b>別紙 計画書(第2～5面)に示す。</b>		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
<b>別紙 計画書(第2～5面)に示す。</b>		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別内容は、「別紙 計画書(第2～5面)」に示すとおり。 再資源化を最優先に分別に取組んでいる。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取り組みを継続。 全体で、昨年度の1%減

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t
	別紙 計画書(第2～5面)に示す。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t
	別紙 計画書(第2～5面)に示す。	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t
別紙 計画書(第2～5面)に示す。		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t
別紙 計画書(第2～5面)に示す。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	別紙 計画書(第2～5面)に示す。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	別紙 計画書(第2～5面)に示す。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	別紙 計画書(第2～5面)に示す。		
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】 別紙 計画書(第2~5面)に示す。		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) 削減活動の継続および電子Manifestoの検討			
※事務処理欄			





		番号	4	5	6	7	
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 (廃プラ)	廃プラスチック類 (複合廃プラ)	木くず (集積場)	木くず (パレット)	
(第2面)	関係する産業廃棄物の抑制事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	排出量(t)	316	36	31	34
		②計画 【目標】	今後実施する予定の取組	仕損品削減	資材使用量の削減	資材使用量の削減	荷姿改善
(第3面)	自らの再生利用に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量(t)				
		②計画 【目標】	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量(t)				
	自らの再生利用に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量(t)				
			自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量(t)				
		②計画 【目標】	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量(t)				
			自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量(t)				
(第4面)	自らの再生利用に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量(t)				
		②計画 【目標】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量(t)				
(第4面) (第5面)	産業廃棄物の処理の委託に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	全処理委託量(t)	316	36	31	34
			優良認定処理業者への処理委託量(t)	316		31	
			再生利用業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)				
		②計画 【目標】	これまで実施した取組	仕損品削減	資材使用量の削減	資材使用量の削減	荷姿改善
			全処理委託量(t)	312.840	35.640	30.690	33.660
			優良認定処理業者への処理委託量(t)	312.840		30.690	
			再生利用業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)				
今後実施する予定の取組	仕損品削減継続	削減活動の継続	作業手順の見直しの継続	荷姿改善の継続			

		番号	8	9	10	11	
		産業廃棄物の種類	木くず (パレット)	廃プラスチック類 (硬質廃プラ)	廃プラスチック類 (軟質廃プラ)	蛍光灯	
(第2面)	排出物の抑制に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	排出量(t)	37	16	4	1
			これまでに実施した取組	荷姿改善	資材使用量の削減	梱包方法改善	消灯寿命延長
		②計画 【目標】	排出量(t)	36.630	15.840	3.960	0.990
			今後実施する予定の取組	荷姿改善の継続	削減活動の継続	梱包方法改善継続	取組継続/LED化推進
(第3面)	自ら再生利用に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量(t)				
			これまでに実施した取組				
		②計画 【目標】	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量(t)				
	今後実施する予定の取組						
	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量(t)				
			自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量(t)				
これまでに実施した取組							
	②計画 【目標】	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量(t)					
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量(t)					
		今後実施する予定の取組					
(第4面)	自ら行う産業廃棄物の処理処分又は海洋投入に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量(t)				
			これまでに実施した取組				
		②計画 【目標】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量(t)				
			今後実施する予定の取組				
(第4面) (第5面)	産業廃棄物の処理の委託に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	全処理委託量(t)	37	16	4	1
			優良認定処理業者への処理委託量(t)		16		1
			再生利用業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)				
		②計画 【目標】	これまでに実施した取組	荷姿改善	資材使用量の削減	梱包方法改善	消灯寿命延長
			全処理委託量(t)	36.630	15.840	3.960	0.990
			優良認定処理業者への処理委託量(t)		15.840		0.990
			再生利用業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)				
今後実施する予定の取組	荷姿改善の継続	削減活動の継続	梱包方法改善継続	取組継続/LED化推進			

別紙 計画書 (第2～5面)

		番号	12	13	14	15		
		産業廃棄物の種類	乾電池	鉄くず	汚泥 (脱水汚泥)	汚泥 (塗装工場)		
(第2面)	関係する事項の抑制に	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	排出量(t) これまでに実施した取組	0.080 充電式電池切換え	0.410 仕損品削減	7055 含水率削減	216 作業手順の見直し	
		②計画 【目標】	排出量(t) 今後実施する予定の取組	0.079 充電式電池切換への継続	0.406 仕損品削減継続	6984.450 工程能力向上の継続	213.840 作業手順の見直しの継続	
(第3面)	事項 自ら再生利用を行う産業廃棄物に関する	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量(t) これまでに実施した取組					
		②計画 【目標】	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量(t) 今後実施する予定の取組					
		①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量(t) 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量(t) これまでに実施した取組			6632 含水率削減		
	②計画 【目標】	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量(t) 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量(t) 今後実施する予定の取組			6565.680 工程能力向上の継続			
	(第4面)	処理 自ら処分を行う産業廃棄物に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量(t) これまでに実施した取組				
			②計画 【目標】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量(t) 今後実施する予定の取組				
(第4面) (第5面)	産業廃棄物の処理の委託に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	全処理委託量(t)	0.080	0.410	423	216	
			優良認定処理業者への処理委託量(t)	0.080		423	216	
			再生利用業者への処理委託量(t)		0.410			
			認定熱回収業者への処理委託量(t)					
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)					
		②計画 【目標】	これまでに実施した取組	充電式電池切換え	仕損品削減	含水率削減	作業手順の見直し	
		全処理委託量(t)	0.079	0.406	418.770	213.840		
		優良認定処理業者への処理委託量(t)	0.079		418.770	213.840		
		再生利用業者への処理委託量(t)		0.406				
		認定熱回収業者への処理委託量(t)						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)								
今後実施する予定の取組	充電式電池切換への継続	仕損品削減継続	工程能力向上の継続	作業手順の見直しの継続				

		番号	16	17	18	19
		産業廃棄物の種類	自動車用プラスチックバンパー	汚泥 (塗装工場)	汚泥 (塗装工場)	汚泥 (塗装工場) (エマルジョン)
(第2面)	関係する産業廃棄物の抑制事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	排出量(t) 9	8	6	33
		②計画 【目標】	8.910	7.920	5.940	32.670
(第3面)	自ら再生利用を行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量(t) これまで実施した取組			
		②計画 【目標】	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量(t) 今後実施する予定の取組	仕損品削減の継続	作業手順の見直しの継続	作業手順の見直しの継続
(第4面)	自ら埋立処分又は海洋投入に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量(t) これまで実施した取組			
		②計画 【目標】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量(t) 今後実施する予定の取組			
(第4面) (第5面)	産業廃棄物の処理の委託に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	全処理委託量(t) 9	8	6	33
		②計画 【目標】	8.910	7.920	5.940	32.670

		番号	20	21	22	23	
		産業廃棄物の種類	汚泥 (塗装 乾燥)	汚泥 (塗装 油水分離)	鉍物系廃油 (エマルジョン)	鉍物系廃油 (油水分離)	
(第2面)	排出する産業廃棄物の抑制事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	排出量(t) 322	12	3	1	
		これまで実施した取組	作業手順の見直し	作業手順の見直し	作業手順の見直し	作業手順の見直し	
		②計画 【目標】	排出量(t) 318.780	11.880	2.970	0.990	
		今後実施する予定の取組	作業手順の見直しの継続	作業手順の見直しの継続	作業手順の見直しの継続	作業手順の見直しの継続	
(第3面)	自ら再生利用を行う産業廃棄物に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量(t)				
		これまで実施した取組					
		②計画 【目標】	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量(t)				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量(t)				
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量(t)					
		これまで実施した取組					
	②計画 【目標】	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量(t)					
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量(t)						
	今後実施する予定の取組						
(第4面)	自ら埋立処分又は海洋投入に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量(t)				
		これまで実施した取組					
		②計画 【目標】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量(t)				
		今後実施する予定の取組					
(第4面) (第5面)	産業廃棄物の処理の委託に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	全処理委託量(t)	322	12	3	1
			優良認定処理業者への処理委託量(t)	322	12	3	1
			再生利用業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)			3	
			これまで実施した取組	作業手順の見直し	作業手順の見直し	作業手順の見直し	作業手順の見直し
		②計画 【目標】	全処理委託量(t)	318.780	11.880	2.970	0.990
			優良認定処理業者への処理委託量(t)	318.780	11.880	2.970	0.990
			再生利用業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)			2.970	
			今後実施する予定の取組	作業手順の見直しの継続	作業手順の見直しの継続	作業手順の見直しの継続	作業手順の見直しの継続

		番号	24	25	26	27	
		産業廃棄物の種類	固形油	鉱物系廃油 (油水分離)	廃プラスチック	鉱物系廃油 (焼却)	
(第2面)	関係する産業廃棄物の抑制事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	排出量(t)	1	47	1	0.607
			これまでに実施した取組	作業手順の見直し	作業手順の見直し	仕損品削減	作業手順の見直し
		②計画 【目標】	排出量(t)	0.990	46.530	0.990	0.601
			今後実施する予定の取組	作業手順の見直しの継続	作業手順の見直しの継続	仕損品削減継続	作業手順の見直しの継続
(第3面)	事項 自ら再生利用に産業廃棄物に関する	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量(t)				
			これまでに実施した取組				
		②計画 【目標】	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量(t)				
	今後実施する予定の取組						
	自ら行う産業廃棄物の中間処理に	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量(t)				
			自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量(t)				
これまでに実施した取組							
	②計画 【目標】	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量(t)					
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量(t)					
		今後実施する予定の取組					
(第4面)	処理 自ら行う産業廃棄物の処分又は海洋投入の	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量(t)				
			これまでに実施した取組				
		②計画 【目標】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量(t)				
			今後実施する予定の取組				
(第4面) (第5面)	産業廃棄物の処理の委託に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	全処理委託量(t)	1	47	1	0.607
			優良認定処理業者への処理委託量(t)	1	47	1	0.607
			再生利用業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)				
		②計画 【目標】	これまでに実施した取組	作業手順の見直し	作業手順の見直し	仕損品削減	作業手順の見直し
			全処理委託量(t)	0.990	46.530	0.990	0.601
			優良認定処理業者への処理委託量(t)	0.990	46.530	0.990	0.601
			再生利用業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者への処理委託量(t)				
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)							
今後実施する予定の取組	作業手順の見直しの継続	作業手順の見直しの継続	仕損品削減継続	作業手順の見直しの継続			

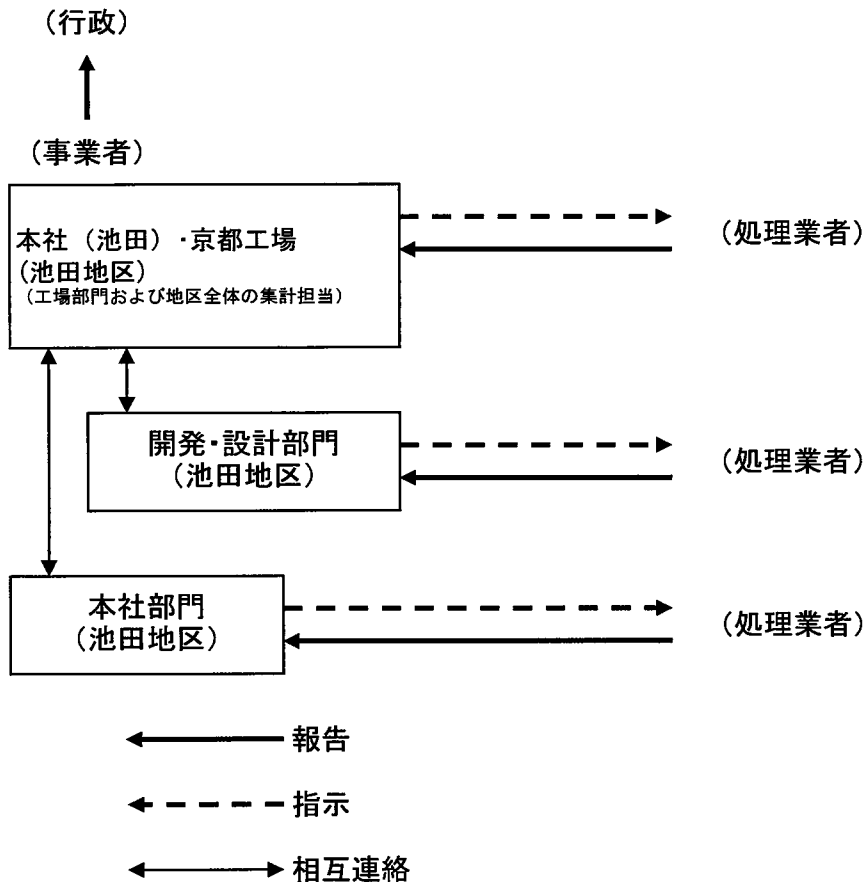
		番号	28	29	30	31	
		産業廃棄物の種類	汚泥 (焼却)	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	
(第2面)	関係する産業廃棄物の抑制事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	排出量(t) 0.268	3	0.006	5	
		これまで実施した取組	作業手順の見直し	作業手順の見直し	作業手順の見直し	仕損品削減	
		②計画 【目標】	排出量(t) 0.265	2.970	0.006	4.950	
		今後実施する予定の取組	作業手順の見直しの継続	作業手順の見直しの継続	作業手順の見直しの継続	仕損品削減継続	
(第3面)	自ら再生利用に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量(t)				
		これまで実施した取組					
		②計画 【目標】	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量(t)				
	自ら再生利用に関する産業廃棄物の中間処理に	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量(t)				
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量(t)					
		これまで実施した取組					
②計画 【目標】	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量(t)						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量(t)						
	今後実施する予定の取組						
(第4面)	自ら行う産業廃棄物の処分又は海洋投入に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量(t)				
		これまで実施した取組					
		②計画 【目標】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量(t)				
		今後実施する予定の取組					
		全処理委託量(t)	0.268	3	0.006	5	
(第4面) (第5面)	産業廃棄物の処理の委託に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0.268		0.006	5
			再生利用業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)				
			これまで実施した取組	作業手順の見直し	作業手順の見直し	作業手順の見直し	仕損品削減
		②計画 【目標】	全処理委託量(t)	0.265	2.970	0.006	4.950
			優良認定処理業者への処理委託量(t)	0.265		0.006	4.950
			再生利用業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者への処理委託量(t)				
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)				
今後実施する予定の取組	作業手順の見直しの継続	作業手順の見直しの継続	作業手順の見直しの継続	仕損品削減継続			

		番号	32	33	
		産業廃棄物の種類	鉄くず	鉄くず	
(第2面)	関係する事項の抑制に	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	排出量(t) これまでに実施した取組	5 仕損品削減	285 仕損品削減
		②計画 【目標】	排出量(t) 今後実施する予定の取組	4.950 仕損品削減継続	282.150 仕損品削減継続
(第3面)	自らの再生利用に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量(t) これまでに実施した取組		
		②計画 【目標】	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量(t) 今後実施する予定の取組		
			自ら熱回収を行った産業廃棄物の量(t) 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量(t) これまでに実施した取組		
	自らの再生利用に関する事項	②計画 【目標】	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量(t) 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量(t) 今後実施する予定の取組		
			自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量(t) これまでに実施した取組		
			自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量(t) 今後実施する予定の取組		
(第4面)	自らの再生利用に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量(t) これまでに実施した取組		
		②計画 【目標】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量(t) 今後実施する予定の取組		
(第4面) (第5面)	産業廃棄物の処理の委託に関する事項	①現状 【前年度(令和元年度)実績】	全処理委託量(t)	5	285
			優良認定処理業者への処理委託量(t)		
			再生利用業者への処理委託量(t)	5	285
			認定熱回収業者への処理委託量(t)		
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)		
		②計画 【目標】	これまでに実施した取組	仕損品削減	仕損品削減
			全処理委託量(t)	4.950	282.150
			優良認定処理業者への処理委託量(t)		
			再生利用業者への処理委託量(t)	4.950	282.150
			認定熱回収業者への処理委託量(t)		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)					
今後実施する予定の取組	仕損品削減継続	仕損品削減継続			



別紙 添付資料 管理体制及び各部署の役割

〔管理体制〕



〔各部署の役割〕

部署	役割
本社(池田)・京都工場 (池田地区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の処分について帳簿等を作成して把握管理</li> <li>産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等</li> <li>処理施設の定期的査察</li> <li>産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握</li> <li>保管施設での保管量の把握、記録の作成等</li> <li>産業廃棄物の分析及び環境事象の分析、測定等</li> <li>処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理</li> <li>産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関する社内啓発</li> <li>各部署間の調整及び指示</li> <li>廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定及びその実施</li> <li>行政に対する報告等</li> </ul>
開発・設計部門 (池田地区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の処分について帳簿等を作成して統括的に把握管理</li> <li>産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等</li> <li>処理施設の定期的査察</li> <li>産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握</li> <li>保管施設での保管量の把握、記録の作成等</li> <li>産業廃棄物の分析及び環境事象の分析、測定等</li> <li>処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理</li> <li>産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関する社内啓発</li> <li>各部署間の調整及び指示</li> <li>廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討</li> </ul>
本社部門 (池田地区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の処分について帳簿等を作成して統括的に把握管理</li> <li>産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等</li> <li>処理施設の定期的査察</li> <li>産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握</li> <li>保管施設での保管量の把握、記録の作成等</li> <li>産業廃棄物の分析及び環境事象の分析、測定等</li> <li>処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理</li> <li>産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関する社内啓発</li> <li>各部署間の調整及び指示</li> <li>廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討</li> </ul>

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。